



7/21 郷電設 2 連覇 !!

第10回村職場対抗ソフトボール大会開催

白水運動公園グラウンドで、「第10回南阿蘇村職場対抗ソフトボール大会」が開催されました。試合は出場チームの総当たり戦。各チームとも素晴らしいチームワークで、好プレーや珍プレーもあり、終日熱戦が繰りひろげられました。大会は、郷電設（立野区）が第9回大会に引き続き2連覇を果たしました。

大会結果は次のとおりです。

- ①郷電設 ②南阿蘇村カルデラズ ③レッドブルズ



優勝した郷電設チーム

7/12~14 スポーツを通じて親睦を

新上五島町・南阿蘇村スポーツ交流事業（卓球競技）

7月12日～14日の2泊3日で、姉妹町村の長崎県新上五島町より、卓球の選手団が14人来村致しました。白水体育館にて本村卓球協会と交流試合を行い、白熱した好ゲームが繰り広げられていました。

昨年、本村の選手団が訪問し、約一年ぶりの再会となり、再会を喜び懐かしむ場面も見られました。

あいにくの天候でしたが、本村の観光もされ、「必ずまた来ます！」と、別れを惜しみながら帰路につかれました。

10月に本村からもペタンク競技で訪問する予定となっています。



参加者の皆さんで記念撮影

7/27 伝統の復活

群塚神社夏季例大祭

吉田一・二・三区の地域住民合同で行う「群塚神社夏季例大祭」が、吉田一区の群塚神社で開催されました。

同大祭は、40年ほど前までは賑わいを見せていましたが、参加者の減少により数年前までは神事のみになっていたものを昨年、「神輿」を復活。今年は「もっと活気ある祭りにしよう」と「子ども神輿」を住民で手作りしました。

「子ども神輿」では、40人の子どもたちが元気よくかつぎました。

吉田三区長の宮田義久さんは、「35年ぶりに伝統ある夏祭りが復活できてほっとしました。今後も絶やさず続けていきたいと思います」と話されました。



復活した「子ども神輿」をかつぐ子どもたち

7/27 交通ルールを守り楽しくサイクリング

第16回サイクルマラソン阿蘇望

自転車愛好家が阿蘇一円をサイクリングする「第16回サイクルマラソン阿蘇望」が「アスペクタ」をスタート・ゴールに開催され、北海道のほか県内外から多くの参加者が集まりました。

開会式では、参加者を代表して古庄幸雄さん（袴野）が、「阿蘇の雄大な自然を満喫しながら、参加者全員が完走できるように、交通ルールを守り最後まで走り抜きます」と宣誓しました。

120キロのAコースと、Aコースの前半部分を走るBコース合わせて790人が出走。途中、雷雨に見舞われ、残念ながらAコースは午前中で中止となりました。



スタートのコールと同時に一斉に走り出す参加者

7/31 両国での経験を生かして

第41回日独スポーツ少年同時交流

国際経験豊かな指導者を育成することを目的に、「第41回日独スポーツ少年同時交流」が行われました。これは、両国のスポーツ少年団のリーダーが相手国へホームステイし、スポーツ交流や視察研修などを実施する交流事業。大津町の総合型スポーツクラブ「クラブおおづ」が受け入れた9人のドイツスポーツ少年団は、立野区の「工房いけだ」を訪れ、「かずら」で籠作りに挑戦しました。

交流生たちは、同工房の池田佐恵子さん（立野）から手ほどきを受けながら、真剣な表情で籠作りをしていました。



池田さんに教わりながら籠作りに挑戦する交流生

7/28 来年4月の開所を目指して

長陽地区統合保育所（仮称）起工式

長陽地区統合保育所（仮称）の起工式が、同保育所の建設予定地で荒牧俊一村議会議長のほか議会議員・村関係者など70人が出席して行われました。

統合保育所は、延べ床面積1743㎡、木造平屋建て。多目的スペースや、一時保育室も整備されます。

式では、長野村長が、「この統合保育所については合併以前からの大きな課題でした。通所の問題などまだ検討すべき課題もあることから、皆様のご協力をいただきたい」とあいさつ。

来年4月には、統合保育所が開所する予定です。



工事の無事を祈願する出席した関係者

8/2 世界ジオパークへの認定を目指して

池の川水源で現地審査

世界ジオパーク（GP）への認定を目指している阿蘇 GP 推進協議会の現地審査が7月30日から8月2日にかけて行われ、2日に本村の池の川水源を訪れました。

審査したのは世界GPネットワークの外国人2人。対応したのは小学3～6年生で構成するジュニアジオガイド（国立阿蘇青少年交流の家）の14人と阿蘇ジオガイドや関係者。

ジュニアジオガイドは、日本リモナイトや溶岩トンネルなどを紹介した後、3班に分かれて水源の成り立ちや活用方法の問題を解く体験ミッションに挑戦しました。

この審査結果は、9月に開催される国際会議（カナダ）で発表されます。



体験ミッションに参加するジュニアジオガイドと審査員（中央奥）

8/1 吹奏楽部コンクールで金賞

長陽中学校吹奏楽部

第58回熊本県吹奏楽部コンクール中学校Bパートの部（15人以下）が県立劇場で開催され、長陽中学校吹奏楽部（部員17人）が金賞を受賞しました。

コンクールには、県内の中学校33団体が出場。同吹奏楽部は、課題曲「ケルトの吟遊詩人」と自由曲「東方見聞録～バッカナール、アジアの宴～」を演奏し、迫力ある音色で観客を魅了しました。

部長の井野凧沙さん（3年生）は、「先生や保護者の方々の支え、そして部員全員の強い思いと、練習の成果が金賞につながりました。2年後の中学校統合に向け、さらに音色に磨きをかけてがんばります」と喜びを話してくれました。



金賞受賞に喜ぶ吹奏楽部員の皆さん